

最優秀賞に八木さん

九州協 建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は8月30日、2024年度若手技術者交流会を開いた。写真。台風10号の影響でウェブ開催となり、応募があった14人のうち13人の若手技術者が日頃の研究成果などを発表した。審査の結果、八木恒憲（八千代エンジニアリング）さんの「観光・レクリエーション施設のリニューアル基本構想策定に係るプロセス紹介」が論文と発表の両方で特に優れたものが選ばれる総合最優秀賞に輝いた。

建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は8月30日、2024年度若手技術者交流会を開いた。写真。台風10号の影響でウェブ開催となり、応募があった14人のうち13人の若手技術者が日頃の研究成果などを発表した。審査の結果、八木恒憲（八千代エンジニアリング）さんの「観光・レクリエーション施設のリニューアル基本構想策定に係るプロセス紹介」が論文と発表の両方で特に優れたものが選ばれる総合最優秀賞に輝いた。

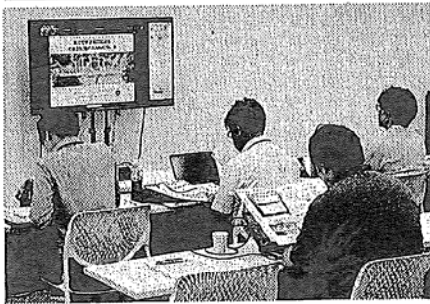
本ダイヤコンサルタント）の「PC方杖ラーメン橋の支承部に対する耐震補強対策」、土佐侑子さん（復建調査設計）の「地域公共交通計画策定支援における施策に結び付く現状分析」。

論文部門の最優秀賞は北村圭太さん（東京建設コンサルタント）の「筑後川における洪水予測の高度化について」。

優秀賞は、釘宮斗弥さん（協同エンジニアリング）の「橋梁定期点検における点検支援技術の活用について」、山本乾雄さん（総合技術コンサルタント）の「曲線橋の影響による負反力を解消するため支点をアウトリガ形式とした鋼単純箱桁橋の詳細設計」だった。

このほかの発表テーマと発表者は次のとおり（敬称略）。

- ▽流水型ダムにおける試験湛水時の環境影響の検証 山本裕貴（建設技術研究所）
- ▽ポンプ場の解体方法・手順の検討について 浦野倫宏（エイト日本技術開発）
- ▽ダム維持管理におけるDX化への取り組み 渡辺俊（CTIグループ）
- ▽橋梁点検における新技術の試行 中山旺亮（第一復建）
- ▽国営公園における駅口展示配置設計と継続イベントの検討について 間中大樹（サンコーコンサルタント）
- ▽樋門樋管長寿命命化策定業務 高橋裕馬（東九州コンサルタント）。



冒頭、あいさつした冒険修